



安全なバス業界の確立に向け 225名の国会議員に要請行動をおこなう!

11月9日JR総連は、JR東労組バス関東本部・バス東北本部の仲間30名とともに衆議院・参議院議員会館を訪れました。国土交通委員・厚生労働委員会・民主党バス議員連盟所属の議員など、併せて225名を訪問し、バス乗務員と利用者の安全を確保し、バス業界の未来のために、解決しなければならない問題点や考え方をまとめた要望書と「新高速乗合バス制度」について職場で議論した「職場討議資料」を手渡してきました。

具体的には、この間取り組んできた高速ツアーバスの実態調査の検証にもとづく内容や職場で議論してきたことについて訴えてきました。内容は以下の通りです。



民主党・日本バス議連会長
田中直紀参議院議員



国民の生活が第一
松崎哲久衆議院議員

- ①24時間の運行管理体制
- ②連続運転時分・休息時分の改善
- ③「新高速乗合バス制度」移行後の高速ツアーバス事業禁止について
- ④監査体制の強化
- ⑤バス乗務員の教育・訓練、車両整備等の体制確保について
- ⑥管理の受委託制度の厳格化について
- ⑦新高速バスのバス停問題について
- ⑧地方路線バス事業が継続していける制度確立について
- ⑨大型二種免許取得制度の推進
- ⑩震災・異常時に強いバス輸送の確保について



民主党
石橋通宏参議院議員



民主党
長尾敬衆議院議員



国民の生活が第一
佐藤公治参議院議員



民主党・日本バス議連事務局長
徳永エリ参議院議員